

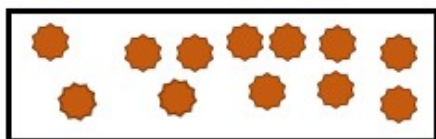
さんすう 1 (きょうかしょ 27、28ページ)

☆きょうかしょ 27ページから はじまる 「2けたのたしざん」を
このプリントで べんきょうしていきましょう。

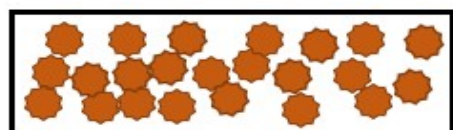


とう ぶしょう
東 武将くんが クッキーを つく 作りました。

きのうは、クッキーを
1 2 こ つく 作りました。



きょうは、クッキーを
2 3 こ つく 作りました。



もんだい

① きのは、クッキーを なん こ つく 作りましたか。

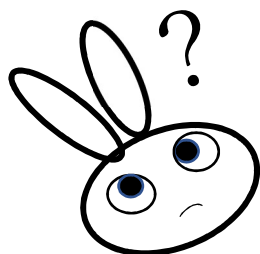
こ

② きょうは、クッキーを なん こ つく 作りましたか。

こ

③ きのと きょうで、クッキーを ぜんぶで なん こ つく 作りましたか。
しきを 書きましょう。

しき



「ぜんぶで」なん こ だから たしざんかな、ひきざんかな。

おぼえよう

くらい のことを「けた」とも いいます。

2は、1けた(ひとけた)のかず、12は、2けた(ふたけた)のかず です。

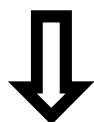


さんすう 2 (きょうかしょ 29、30、31ページ)

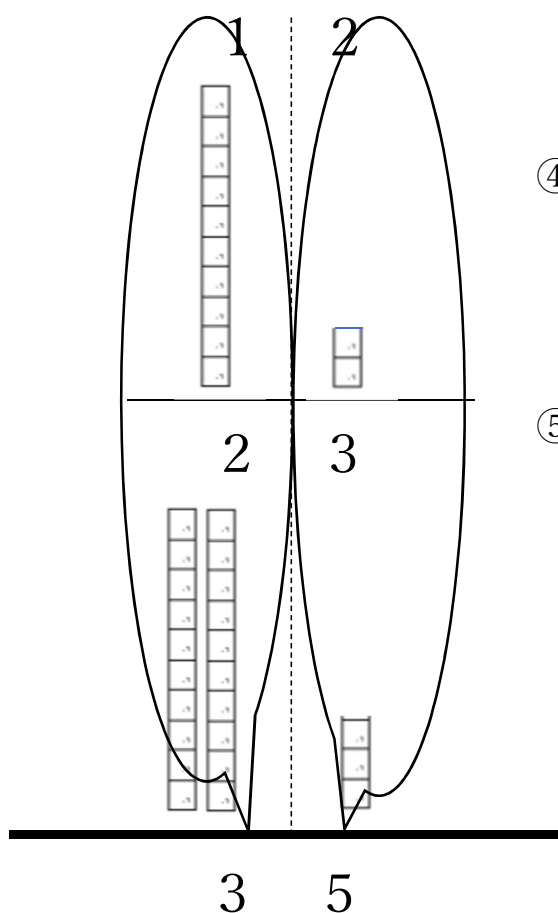
12 + 23のように 2けたのかずの たしざんは、どうすれば できるのかな。
1年生で べんきょうした たしざんを おもいだしてみよう。
□に入る かずを 書きましょう。

① 12は、10のまとまりが □ こ と ばらが □ こ

② 23は、10のまとまりが □ こ と ばらが □ こ。



ブロックで ならべてみると



③ 10のまとまりは、□ + □ なの
で □ になります。

④ ばらは、□ + □ なので □
になります。

⑤ 10のまとまりが3こ、ばらは、5こなの
で、12 + 23のこたえは、
□ に なります。



12 + 23のように 2けたの たしざんは、
十のくらいどうし、一のくらいどうしを たして
けいさん
計算します。

さんすう 3 (きょうかしょ 35 ページ)

ブロックをつかわなくても かんたんに けいさんするには、**ひっ算**^{さん}をつかいます。

ひっ算の しかたを おぼえましょう。



とう ぶしょう
東 武将くんが うえた花が さきました。

赤い花が 24本
さきました。

きいろい花が 13本
さきました。

もんだい

① 花は、ぜんぶで なん 何本 さきましたか。

しき

② ひっ算で こたえを 出してみましょう。

24 + 13 の ひっ算の しかた

まず、

24 + 13 の しきの
「+」より まえのかずを 上に
「+」より うしろのかずを 下に
書きます。
くらいを そろえて 書きます。

	2	4
+	1	3
	3	7

つぎに、

一のくらいの 4と3を たてに たして、
7を かきます。

さいごに

十のくらいの 2と1を たてに たして、
3を かきます。

こたえは、37本に なります。



さんすう 4 (きょうかしょ 36 ページ)

☆つぎの けいさん 計算を さん ひっ算で しましょう。



①

	2	5
+	1	3

さん
ひっ算は、一のくらいから

けいさん
計算するよ。

②

	1	5
+	6	2

③

	6	5
+	3	1

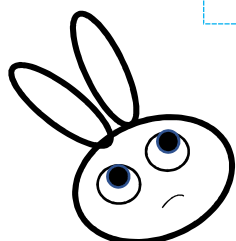
④

	1	8
+	4	0

⑤

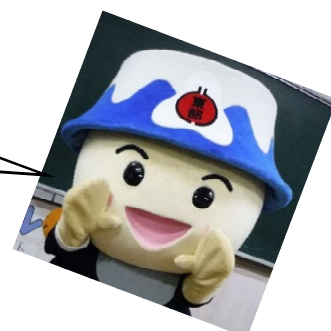
	3	2
+	2	0

?



一のくらいが 0 のときは、どうやって けいさん 計算するのかな。

一のくらいが 0 のときも おなじように
上と下のかずを たします。



さんすう 5 (きょうかしょ 36 ページ)

☆つぎの ^{けいさん}計算を ^{さん}ひっ算で 計算して こたえを だしましょう。



① $32 + 53 =$

85

	3	2
+	5	3
	8	5

しきを ひっ算に かえて
計算してみましょう。

こたえが 出たら しきの
ところにも 書きましょう。

② $24 + 15 =$

+		

③ $12 + 73 =$

+		

④ $20 + 38 =$

+		

⑤ $40 + 30 =$

+		